

医療法人財団 岩井医療財団

東京 稲波脊椎・関節病院

東京 岩井整形外科内科病院

脊椎と関節の低侵襲医療を提供し、暮らしの質を守る

脊椎疾患の内視鏡下手術に豊富な実績を持つIWAグループ。スポーツ整形も充実させて、怪我や関節の障害克服にも取り組んできた。その臨床経験から得たたくさんさんのデータは、日々検証・評価され、新しい低侵襲医療技術の開発に生かされている。

患者様の脊椎疾患に合わせた低侵襲手術を

昨夏、交通至便の東京・品川に開設した稲波脊椎・関節病院。母体である岩井整形外科内科病院には、脊椎内視鏡下手術の国内シェア約10%※という実績があり、脊椎脊髄疾患、関節疾患、スポーツ障害の、さらなる医療拡充に期待が寄せられている。両院の陣頭指揮を執る稲波弘彦院長のモットーは「医師自身が受けたくなるオーダーメイドの低侵襲手術」だ。主な疾患に腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、腰椎すべり症などがあるが、病名が同じでも、どの

神経がどのように障害され、痛みを感じるかは千差万別。治療法も異なる。

日本整形外科学会が定める脊椎内視鏡下手術の技術認定を取得した稲波院長は「MRI、トモシンセシス（断面画像）など数百枚に及ぶ画像診断に、神経根ブロックや関節ブロック、電気生理学的検査を加え、病変部をピンポイントで特定。一人ひとりに合わせ、出血や痛みが少なく、時間も短く、退院・社会復帰の早い低侵襲の脊椎内視鏡下手術の実施を目指しています」と語る。

例えばMED（内視鏡下腰椎椎間板摘出術）は、僅か直径16mmの外筒管を

帯も温存できる。

背骨中央を貫く脊柱管が、変性した椎骨や靭帯で狭くなり、神経を圧迫する腰部脊柱管狭窄症ではMED（内視鏡下腰椎椎間板摘出術）を行なう。また、腰椎椎間板変性症や、腰椎変性すべり症などで脊椎が不安定化している場合は、内視鏡下に椎間板を操作してスクリューとロッドで固定するMED・PLIF/TLIF（内視鏡下腰椎椎体間固定術）が行われる。

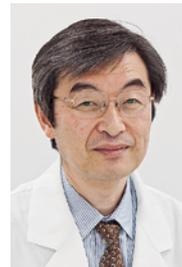
早期回復を目指すスポーツ整形

スポーツ整形外科の専門医として経験豊富な内山英司副院長も在籍している。改良を重ねたアキレス腱断裂の手術や、関節鏡下の膝前十字靭帯再建術は、整形外科学会で広く知られてきた。半月板損傷の関節鏡下手術にもオリジナルの工夫がある。「トップアスリートもスポーツ愛好家も、安全で1日も早い復帰を願っています。腱や靭帯を、どの位置に設置し、どう縫合すれば痛みが少なく、安静日数を減らし、松葉杖を手放せるか？どれも患者さんの経過と、リ



岩井整形外科内科病院 理事長
稲波脊椎・関節病院 院長
稲波 弘彦

いなみなみひろひこ / 東京大学医学部医学科卒業。東京大学医学部整形外科教室入局。都立墨東病院三井記念病院虎の門病院等に出身。平成2年岩井整形外科内科病院院長就任。日本整形外科学会認定整形外科専門医。日本脊椎脊髄病学会所属。



稲波脊椎・関節病院
副院長・スポーツ関節センター長
内山 英司

うちやまえいじ / 北海道大学医学部卒業。東京大学医学部整形外科教室入局。関東労災病院スポーツ整形外科部長を19年間務める。日本整形外科学会認定整形外科専門医、日本整形外科学会スポーツ医学評価委員、日本体育協会公認スポーツドクター。

そこから内視鏡と手術器具を入れ、痛みの原因となる椎間板ヘルニアを摘出するもの。所用時間は20〜25分だ。筋肉をほとんど剥がす必要がなく靭

HOSPITAL DATA

稲波脊椎・関節病院
〒140-0002 東京都品川区東品川3丁目17-5
TEL.03-3450-1773
http://www.iwai.com/inanami-sekitsu/

岩井整形外科内科病院
〒133-0056 東京都江戸川区南小岩 8-17-2
TEL.03-5694-6211
http://www.iwai.com/iwai-seikei/

臨床データの解析を公共のために生かす

稲波脊椎・関節病院と岩井整形外科内科病院の強みは8千例の手術画像と、2千例の医学的所見に基づくアンケートデータだ。特に後者は術者ではない医療スタッフが、患者様の痛みや身体機能、生活動作などの状況を数年間追跡調査し、治療効果の客観的評価を行う試みである。「医学は経験をフィードバックすることで進化します。これらの情報は「公共財」として、プライバシーに配慮しつつ、開示を進める予定です」（稲波院長）

先端技術の開発と社会貢献を同時に視野に入れ、IWAグループの歩みは止まらない。

ハビリに立ち会う理学療法士の評価から考案した術式です。平均入院期間は前十字靭帯再建で10日、アキレス腱断裂5日、半月板損傷は3日です」

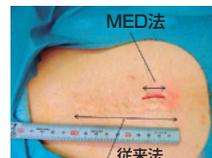
徹底した感染症対策や、消炎鎮痛のため手術時に冷却した灌流液を使うなどの配慮もある。



2015年4月にオープンした新設の「稲波脊椎・関節病院」には先進の機器が整備された手術室が3室あり、低侵襲手術を行なう。



骨の切除をせずにヘルニアを摘出するため内視鏡は直径16mm。



MEDの皮膚切開と従来法の皮膚切開。